

平成 29 年度 事業者向け 放課後等デイサービス【すまいる】自己評価表

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・ 体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	4	1		・長期休暇時に利用人数が多くなると狭さを感じる場合もあるので、活動をグループ分けして室内活動の組と屋外活動の組に分けている。
	②	職員の配置数は適切であるか	4	1		・配置基準以上に職員を配置している。
	③	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	4	1		・昭光園内にはエレベーター、スロープ、手すり、身体障害者用トイレなどある。すまいるの室内に手すりはないが床がフラットになっており、身体障害者用トイレも室内に完備している。 ・角には段ボールや布等で衝突防止を図っている。
業務改善	④	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	5			・ケース会や振り返りなどを行い、改善すべき点などをチームで検討している。長期休暇終了後にも振り返りを行い、次の長期休暇時に活かせるようにしている。
	⑤	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	4		1	・今回が初めての実施。 ・アンケートを受けて今後取り組んでいく。
	⑥	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	4		1	・今回が初めての評価になりこれから公開となる。
	⑦	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか		3	2	・第三者による外部評価は未実施。
	⑧	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	5			・必要に応じて参加している。 ・内部研修や外部研修参加の機会を設けている。
適切な 支援の 提供	⑨	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	5			・支援計画書、中間モニタリング作成時には保護者と面談を行い、利用児の様子や希望などの聞き取りを行っている。また、担当者会で他事業所と情報共有を行い連携を図っている。その情報をもとにチーム全体で支援について検討している。
	⑩	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	1	3		・昭光園で作成しているアセスメントシートの使用や、小学校低学年児にはつながるノートのアセスメントシートを使用している。
	⑪	活動プログラムの立案をチームで行っているか	5			・放課後・長期休暇時などチームで話し合って決めている。
	⑫	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	3	2		・低学年児は公園遊びなど楽しい活動を取り入れ、個々のニーズに合わせた活動を考えている。 ・外部講師の利用もしながら活動の幅を広げている。 ・今後、体を動かす活動（リズム体操等）を増やしていく予定。
	⑬	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細	4	1		・事前に話し合いを持ち課題を共有していくように

	やかに設定して支援しているか				している。 ・長期休暇時には社会資源を活用した活動に取り組めるよう計画している。
	⑭ 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	5			
	⑮ 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	5			・その日の流れの確認や注意点などについて共有できるように話をしている。
	⑯ 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	3	2		・気づいた時にはその都度話をして確認している。 児童が残っていることもあるなど全職員での振り返りは難しい状況もあるので、翌日支援の振り返りを行い情報共有している。
	⑰ 日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	5			・何のために記録が必要なのか確認をしながら、意識して日々の記録に取り組んでいる。
	チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
	⑱ 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	5			・定期のモニタリングのほか必要とあればその都度見直しをするようにしている。
	⑲ ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っているか	5			
関係機関や保護者との連携関係機関や保護者との連携	⑳ 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	5			
	㉑ 学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか	4	1		・保護者を通じて下校時間の変更や予定の確認を行っている。必要に応じて学校と連絡を取り合い情報共有している。
	㉒ 医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	1	1	3	・現在は医療的ケアが必要な子どもの利用はないので該当しない。
	㉓ 就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定子ども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	4	1		・新規利用がある時は保育園見学に行くことや、相談支援事業所を介して支援会を行うなどして情報共有に努めている。
	㉔ 学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	4	1		・担当者会に参加して情報提供を行っている。
	㉕ 児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	4	1		・療育センター主催の研修に参加している。 ・外部講師などの助言も得ている。
	㉖ 放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか				5
㉗ （地域自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか		2	3		

	⑳	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	5			・お迎えの時に保護者の方に子どもの様子を伝えて いる。また保護者の方からも家庭や学校での様子 の話があり情報共有している。	
	㉑	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか		3	2	・保護者に対しての研修等は行っていない。ただし、 お迎え時などに『褒める』ことの大切さや視点な どは話をしていく中でお伝えしている。	
	㉒	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	4			1	・契約時や面談時にお伝えしている。
保護者への説明責任等	㉓	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	5				・保護者から相談があった場合は対応を行い、必要 であれば学校や他事業所と連携を図っている。
	㉔	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか		2	3		・放課後等デイサービスの利用状況を鑑みても現在 父母の会や保護者会という組織はない。事業所と しては、親子で参加できるレクリエーション的な 楽しいものであれば参加する方も増え、そこから 保護者同士の連携に繋がるのではと考えている。
		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ		改善目標、工夫している点など
	㉕	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	5				・苦情はなかったが、こうしてほしいという要望が あった時には、チーム全体で共有し対応している。
	㉖	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	5				・月 1 回すまいる便りで行事予定や、昭光園全体の 広報誌を発行している。
	㉗	個人情報に十分注意しているか	5				
	㉘	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	5				・言葉だけではなく文字や写真、イラストなど見て わかる形で伝えている。 ・絵カードなどのコミュニケーションツールを用い て意思の疎通を図っている。
	㉙	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	5				・昭光園全体の行事（夏祭り等）の際には、地域住 民の方達にも参加していただいている。
非常時等の対応	㉚	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	2			3	・職員間の周知はできているが、保護者に対しては 周知までには至っていない。今後情報共有できる ように周知していく。
	㉛	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	2		3		・職員の訓練を定期的に行っている。29年度は代休 日と春休み期間に子ども達を交えての訓練を行っ た。
	㉜	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	5				・内部研修や外部研修に参加し話し合いを行って いる。
	㉝	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	2	2		1	

④②	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	2	3		・現在すまいるで食物アレルギーがある児童は利用していない。
④③	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	5			・ヒヤリハットを作成して昭光園全体で周知できるように回覧している。

職員 4 名 ・ 児発管 1 名